

Title	2024年度定年退職者略歴・ 著作目録一覧：三尾裕子
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学大学院社会学研究科
Publication year	2025
Jtitle	慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要：社会学心理学教育学：人間と社会の探究 (Studies in sociology, psychology and education：inquiries into humans and societies). No.99 (2025.) ,p.167- 189
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN0006957X-00000099-0167

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2024 年度定年退職者略歴・著作目録一覧

三尾 裕子（みお ゆうこ）

学歴

- 1978 年 3 月 私立桜蔭高校卒業
- 1978 年 4 月 東京大学教養学部文化Ⅲ類入学
- 1980 年 4 月 東京大学教養学部教養学科第一文化人類学分科進学
- 1982 年 3 月 東京大学教養学部教養学科第一文化人類学分科卒業
- 1982 年 4 月 東京大学大学院社会学研究科文化人類学専攻修士課程入学
- 1984 年 3 月 東京大学大学院社会学研究科文化人類学専攻修士課程修了
- 1984 年 4 月 東京大学大学院社会学研究科文化人類学専攻博士課程進学
- 1986 年 10 月 東京大学大学院社会学研究科文化人類学専攻博士課程中途退学

学位

- 2004 年 10 月 28 日 東京大学 博士（学術）第 16113 号
「王爺信仰の歴史民族誌—台湾漢人の民間信仰の動態—」

職歴

- 1986 年 10 月 16 日～1990 年 1 月 31 日 東京大学教養学部助手
- 1989 年 9 月 1 日～1990 年 1 月 31 日 北京外国語学院日本学研究センター 講師
- 1990 年 2 月 1 日～1994 年 3 月 31 日 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 助手
- 1994 年 4 月 1 日～2007 年 3 月 31 日 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 助教授
- 2001 年 5 月 1 日～2002 年 2 月 28 日 東京大学東洋文化研究所 内地研究員
- 2007 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 教授
- 2008 年 7 月～2008 年 9 月 國立成功大學 客員教授
- 2009 年 4 月 1 日～2011 年 3 月 31 日 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
情報資源利用研究センター長
東京外国語大学教育研究評議員
- 2011 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
副所長，東京外国語大学教育研究評議員
- 2013 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
所長，東京外国語大学教育研究評議員
- 2015 年 5 月 26 日 東京外国語大学 名誉教授

2015 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日 慶應義塾大学文学部 教授

非常勤講師履歴

1988 年 4 月 1 日～1990 年 3 月 31 日 東海大学
 1992 年 4 月 1 日～1993 年 3 月 31 日 東洋英和女学院大学短期大学部
 1995 年 4 月 1 日～1996 年 3 月 31 日 聖心女子大学文学部
 1997 年 4 月 1 日～1998 年 3 月 31 日 千葉大学文学部
 1998 年 4 月 1 日～1999 年 3 月 31 日 東京大学教養学部
 1999 年 4 月 1 日～2000 年 3 月 31 日 聖心女子大学文学部
 1999 年 4 月 1 日～2001 年 3 月 31 日 東京外国語大学外国語学部
 2002 年 4 月 1 日～2003 年 3 月 31 日 東京大学文学部 非常勤講師
 2004 年 4 月 1 日～2006 年 3 月 31 日 東京大学教養学部
 2007 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日 放送大学
 2007 年 4 月 1 日～2009 年 3 月 31 日 慶應義塾大学文学研究科
 2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日 慶應義塾大学文学部
 2017 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日 成城大学大学院
 2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日 成城大学文芸学部

塾内委員

2015 年 4 月 1 日～2021 年 9 月 30 日 東アジア研究所副所長
 2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日 文学部講座実行委員会委員
 2018 年 10 月 1 日～2022 年 3 月 31 日 安全保障輸出管理委員会委員
 2020 年 9 月 1 日～2022 年 3 月 31 日 大学院社会学研究科紀要編集主任
 2021 年 10 月 1 日～2023 年 9 月 30 日 東アジア研究所所長
 2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日 文学部入試選考委員
 2023 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日 Keio-SPRING プロジェクト選抜委員
 2023 年 10 月 1 日～2025 年 3 月 31 日 東アジア研究所副所長

塾外委員等

2006 年 8 月 1 日～2008 年 7 月 31 日 文部科学省学術調査官
 2007 年 4 月～現在に至る 公益信託澁澤民族学振興基金運営委員
 2008 年 4 月 1 日～2009 年 3 月 31 日 南山大学人類学研究所外部評価・改組提言委員会委員
 2010 年 9 月～2015 年 3 月 31 日 財団法人交流協会日本研究支援委員会
 2010 年 12 月 1 日～2011 年 11 月 30 日 日本学術振興会科学研究費委員会専門委員
 2011 年 1 月～2011 年 3 月 28 日 2010 年度ジェトロ・アジア経済研究所業績評価専門委員（査読委員）
 2011 年 4 月～2015 年 10 月 31 日 文部科学省大学設置・学校法人審議会専門委員
 2011 年 10 月 1 日～2017 年 9 月 30 日 日本学術会議連携会員

2011 年 12 月 1 日～2012 年 11 月 30 日	日本学術振興会科学研究費委員会専門委員
2013 年 1 月 1 日～2013 年 12 月 31 日	人間文化研究機構第 2 期連携研究中間実績評価委員会委員
2013 年 5 月～2013 年 7 月	(中華民国) 中央研究院民族学研究所升等案書面審査委員
2014 年 12 月～2015 年 1 月 31 日	東洋大学附置研究所の評価にかかる審査委員
2015 年 3 月 27 日～2017 年 2 月 14 日	文部科学省科学技術・学術審議会専門委員
2015 年 7 月 1 日～2016 年 3 月 31 日	人間文化研究機構連携研究実績評価委員会委員
2015 年～現在に至る	(中華民国) 『台語研究』 諮詢委員会委員
2016 年 2 月	東洋大学附置研究所の評価にかかる審査委員
2016 年 8 月 1 日～2017 年 3 月 31 日	日本学術振興会特別研究員等審査会専門委員及び 国際事業委員会書面審査員・書面評価員
2017 年 1 月 1 日～現在に至る	(中華民国) 中央研究院民族学研究所学術諮詢委員会委員
2017 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日	日本学術振興会国際事業員会委員
2017 年 4 月～2019 年 3 月	東北大学東北アジア研究センタープロジェクト研究部門プロジェクトユニット評価委員
2017 年 9 月 1 日～現在に至る	(中華民国) 中央研究院民族学研究所「臺灣人類 學刊」刊務委員会委員
2019 年 3 月 25 日～2021 年 2 月 14 日	文部科学省科学技術・学術審議会専門委員
2020 年 1 月～2020 年 2 月	(中華民国) 中央研究院民族学研究所升等案書面 審査委員
2019 年 12 月 1 日～2021 年 11 月 30 日	日本学術振興会科学研究費員会専門委員
2020 年 10 月 1 日～現在に至る	日本学術会議会員
2021 年	2021 年度地域研究コンソーシアム賞 (登竜賞) 専門委員
2023 年 4 月 1 日～現在に至る	宗教文化教育推進センター運営委員
2023 年 4 月 1 日～現在に至る	公益財団法人三島海雲記念財団理事

学会役員

・ 日本文化人類学会

理事 (評議員) 第 20 期 (2002 年 4 月～2004 年 3 月), 第 22 期 (2006 年 4 月～2008 年 3 月), 第 24 期 (2010 年 4 月～2012 年 3 月), 第 25 期 (2012 年 4 月～2014 年 3 月), 第 27 期 (2016 年 4 月～2018 年 3 月)

評議員 28 期 (2018 年 4 月～2020 年 3 月), 29 期 (監事 2020 年 4 月～22 年 3 月) 30 期 (2022 年 4 月～2024 年 3 月)

・ 日本台湾学会

第 5 期 (理事, 2007 年 6 月～2009 年 5 月), 第 6 期 (幹事, 2009 年 6 月～2011 年 5 月), 第 7 期 (理事, 2011 年 6 月～2013 年 5 月), 第 8 期 (理事, 2013 年 6 月～2015 年 5 月), 第 9 期 (理事, 2015 年 6 月～2017 年 5 月), 第 10 期 (理事, 2017 年 6 月～2019 年 5 月), 第 11 期 (理事, 2019 年 6 月～2021 年 5 月), 第 12 期 (理事, 2021 年 6 月～2023 年 5 月), 学術賞・特別賞選考委員会委員長 (2024 年度)

・ 日本華僑華人学会

理事 第 2 期 (2008 年 1 月～2009 年 12 月), 第 3 期 (2010 年 1 月～2011 年 12 月), 第 4 期 (2012 年

1 月～2013 年 12 月), 第 5 期 (2014 年 1 月～2015 年 12 月, 第 7 期 (2018 年 1 月～2019 年 12 月), 第 8 期 (2020 年 1 月～2021 年 12 月), 第 9 期 (2022 年 1 月～2023 年 12 月), 第 11 期 (会長・理事 2024 年 1 月～2025 年 12 月 (予定))

代表者として獲得した外部研究資金

・ 科研費

・ 令和 2 年度～6 年度 基盤研究 (C)「農業開拓移民としての八重山諸島台湾系移民ー「華僑華人」研究の再構築」総額 3,300,000 円

・ 平成 26 年度～29 年度 基盤研究 (C)「台湾漢人民間信仰から見る「記憶」と歴史の「馴致」に関する宗教人類学的研究」総額 3,800,000 円

・ 平成 22 年度～25 年度 基盤研究 (A) 海外学術調査「日本を含む外来権力の重層下で形成される歴史認識ー台湾と旧南洋群島の人類学的比較」総額 32,400,000 円

・ 平成 16 年度～19 年度 基盤研究 (A) 海外学術調査「東南アジアにおける中国系住民の土着化・クレオール化についての人類学的研究」総額 32,630,000 千円

・ 平成 10 年度～12 年度 国際学術研究 → 平成 11 年度より基盤研究 (A) 海外学術調査, 「東アジア沿海地域における民俗文化再生過程の人類学的研究」総額 15,100,000 円

・ 平成 5 年度 奨励研究 (A)「東南中国, 台湾の民間信仰に関わる民族語彙集作成のための基礎研究」総額 900,000 円

・ その他

・ 令和 2-3 年度 慶應義塾大学学事振興資金「民間信仰と歴史記憶ー台湾における日本人を信仰対象とする信仰実践から」(500,000 円)

・ 平成 30-令和元年度 高橋産業経済研究財団「慰霊供養と神格化から見る台湾人の歴史認識ー民衆史学の構築をめざして」(3,000,000 円)

・ 平成 27-28 年度 慶應義塾大学学事振興資金「日本人の台湾植民地経験の研究ーオーラルヒストリーを通して」(500,000 円)

・ 平成 26 年度 JFE21 世紀記念財団アジア歴史研究助成「膨張する中国による東アジア新秩序下の中台関係に関する人類学的研究」(1,500,000 円)

・ 平成 16 年度 公益信託澁澤民族学振興基金民族学振興プロジェクト助成「台湾植民地主義研究会台湾における植民地主義の検討ー「日本」と「中華」をめぐって」(600,000 円)

・ 平成 15 年度 財団法人交流協会共同研究事業 (人文社会科学分野)「台湾における植民地主義の研究」

・ 平成 11 年度 財団法人交流協会日台交流センター歴史研究者交流事業「日本植民地期の台湾漢人に関する歴史学・文化人類学・民俗学的研究について」派遣期間: 1998 年 7 月 29 日～8 月 28 日

・ 平成 2 年度 村田学術振興財団「台湾漢人の世界観」派遣期間: 1990 年 9 月 24 日～1991 年 3 月 17 日

・ 昭和 59 年度 トヨタ財団「台湾漢族の漁村社会と女性」(1,750,000 円)

受賞

2023 年 8 月 19 日 2023 年度 (第 3 回) 日本地理教育学会出版文化賞

『フィールドから地球を学ぶー地理授業のための 60 のエピソード』(古今書院), 2023 年 3 月 25 日出

版. 横山 智・湖中真哉・由井義通・綾部真雄・森本 泉・三尾裕子 共編ほか著者 50 名（著者名略）

業績一覧

単著

- 2025 『心の中の台湾を手作りする—石垣島の台湾系移住民の人類学』 東京：慶應義塾大学出版会.
 2018 『王爺信仰の歴史民族誌：台湾漢人的民間信仰動態』 台北：中央研究院民族学研究所.

編著・監修

- 2023 『フィールドから地球を学ぶ—地理授業のための 60 のエピソード』（横山智・湖中真哉・由井義通・綾部真雄・森本泉・三尾裕子編） 東京：古今書院.
 2022 『台湾で日本人を祀る—^{クイ}鬼から^{シン}神への現代人類学』 東京：慶應義塾大学出版会.
 2021 *Memories of the Japanese Empire: Comparison of the Colonial and Decolonisation Experiences in Taiwan and Nan'yo-gunto*, Routledge.
 2020 『台湾における〈日本〉認識 宗主国位相の発現・転回・再検証』 東京：風響社.
 2016 『帝国日本の記憶 台湾・旧南洋群島における外来政権の重層化と脱植民地化』（三尾裕子・遠藤央・植野弘子編） 東京：慶應義塾大学出版会.
 2014 『台湾語中級』（三尾裕子監修, 林虹瑛著） 東京：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.
 2012 『台湾語入門』, 『台湾語研修テキスト語彙集』（三尾裕子編 陳麗君・蔡承維・林虹瑛・三尾裕子著） 東京：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.
 2012 『グローバリゼーションズ—人類学, 歴史学, 地域研究の現場から』（三尾裕子・床呂郁哉編） 東京：弘文堂.
 2011 『台湾における〈植民地〉経験 日本認識の生成・変容・断絶』（植野弘子・三尾裕子編） 東京：風響社.
 2009 原著者佐倉孫三『臺風雜記 百年前の台湾風俗』（三尾裕子監修 台湾の自然と文化研究会編訳） 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.
 2008 『東南アジアにおける中国系住民の土着化・クレオール化についての人類学的研究』 平成 16 年度～平成 19 年度科学研究費補助金（基盤研究（A））研究成果報告書（研究代表者：三尾裕子）.
 2007 『人類の歴史・地球の現在—文化人類学へのいざない—』（本多俊和・棚橋訓・三尾裕子編） 東京：財団法人放送大学教育振興会.
 2007 *Cultural Encounters between People of Chinese Origin and Local People: Case Studies from the Philippines and Vietnam—Proceedings of International Workshop*, (Mio Yuko ed.) ILCAA.
 2006 『戦後台湾における〈日本〉 植民地経験の連続・変貌・利用』（五十嵐真子・三尾裕子編） 東京：風響社.

- 2005 『民俗文化の再生と創造—東アジア沿海地域の人類学的研究』 東京：風響社.
- 2005 『小川尚義 浅井恵倫 台湾資料研究』（三尾裕子・豊島正之編） 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.
- 2001 『東アジア沿海地域における民俗文化再生過程の人類学的研究』 平成 10 年度-平成 12 年度科学研究費補助金（基盤研究（A））研究成果報告書（研究代表者：三尾裕子）.
- 2001 『東アジアにおける文化の多中心性』（三尾裕子・本田洋編） 東京：風響社.
- 1998 『台湾民間信仰研究文献目録』（林美容・三尾裕子編） 東京：風響社.

学術論文

- 2024 “Deifying Japanese Spirits of the Dead in Taiwan : A Study of the Intersection between Post-coloniality and Post-imperiality”, *Al-Madaniyya: Keio Bulletin of Middle Eastern and Asian Urban History* 3: 1-15.
- 2023 「大会シンポジウム 台湾社会の中の〈日本〉の変遷：文化人類学における可視化と不可視化」『日本台湾学会報』 25: 27-35.
- 2023 「在臺灣做宗教人類学 從馬鳴山鎮安宮的田野經驗談起（壹，國際視角篇-1）」林明德（総編輯）『代遠天長 南鯤鯓代天府（1662～）360 大圓周・代巡信仰国際論壇論文集』 pp. 12-27.
- 2019 “The 5th JASCA International Symposium—The Internationalization/Globalization of Anthropology in East Asia: Taiwan and Japan: Introduction,” *The Japanese Review of Cultural Anthropology*, Vol. 20-2: 133-143.
- 2019 「從地方性的廟宇到全台性的廟宇—馬鳴山鎮安宮的發展及其祭祀圈」（中文）謝国興編『台湾史論叢 民間信仰篇 進香・醮・祭與社会文化變遷』 pp. 175-248 台北：台大出版中心（2003 年同名論文を加筆修正）.
- 2017 「植民地経験，戦争経験を「飼いならす」—日本人を神に祀る信仰を事例に一」『日本台湾学会報』 19: 14-28.
- 2017 「從田中綱常到田中將軍の人神蛻變：無關族群的民眾史學」（林美容・三尾裕子・劉智豪共著）『臺灣文獻』 68(4): 147-179.
- 2017 「田中綱常から田中將軍への人神変質—〈族群泯滅〉の民衆史学—」（林美容・三尾裕子・劉智豪共著）『日本台湾学会報』 19: 50-70.
- 2016 「台湾と旧南洋群島におけるポストコロニアルな歴史人類学の可能性—重層する外来政権のもとでの脱植民地化と歴史認識—」 三尾裕子・遠藤央・植野弘子 共編著『帝国日本の記憶 台湾・旧南洋群島における外来政権の重層化と脱植民地化』 pp. 1-30 東京：慶應義塾大学出版会.
- 2016 「《特集》外来権力の重層化と歴史認識—台湾と旧南洋群島の人類学的比較 序」『文化人類学』 81(2): 217-227.
- 2015 「第 7 屆台灣羅馬字國際研討會演講：現代台湾における「日本」の意味の変容について—人類学的視点から」『台語研究』 7(2): 90-107.

- 2012 「台湾の人類学研究における「バトン・タッチの儀式」—1926年4月の森丑之助から移川子之藏への手紙」 所澤潤・三尾裕子著 『台湾原住民研究』 16: 123-138.
- 2012 「序論 なぜ「グローバリゼーションズ」なのか」(三尾裕子・床呂郁哉共著) 三尾裕子・床呂郁哉編 『グローバリゼーションズ—人類学・歴史学・地域研究の現場から』 pp. 1-30 東京: 弘文堂.
- 2012 「中国系移民におけるグローバリゼーション経験—ベトナムを中心として—」 三尾裕子・床呂郁哉編 『グローバリゼーションズ—人類学・歴史学・地域研究の現場から』 pp. 53-90 東京: 弘文堂.
- 2011 「警察官用原住民語教科書に見える原住民へのまなざし」 植野弘子・三尾裕子編 『台湾における〈植民地〉経験 日本認識の生成・変容・断絶』 pp. 259-299 東京: 風響社.
- 2011 「民族学から人類学へ—学問の再編と大学教育」 山路勝彦編 『日本の人類学 植民地主義, 異文化研究, 学術調査の歴史』 pp. 445-493 西宮: 関西学院大学出版会.
- 2010 「都市化と民間信仰實踐主體的變貌—以 1990 年代雲林縣馬鳴山鎮安宮為例」(中文) 『成大歷史學報』 39: 203-222.
- 2009 「台湾研究この 10 年: 台湾を対象とした人類学の発展過程」 『日本台湾学会報』 11: 57-65.
- 2009 「『蕃語編纂方針』から見た日本統治初期における台湾原住民語調査」 『日本台湾学会報』 11: 155-175.
- 2009 「〈媽祖〉は誰にとっての神か?—グローバル化・ナショナリズム・ローカル化」 鈴木正崇編 『東アジアの民衆文化と祭祀空間』(東アジア研究所講座) pp. 311-345 慶應義塾大学出版会.
- 2008 “Sojourning and Indigenization of Chinese Immigrants: A Case Study from Hoi An, Vietnam,” 三尾裕子編 『東南アジアにおける中国系住民の土着化・クレオール化についての人類学的研究』 平成 16 年度~平成 19 年度科学研究費補助金(基盤研究(A)) 研究成果報告書 pp. 1-17.
- 2007 「台湾における漢人のアイデンティティの揺らぎ: 台湾で「漢人」とは誰か?—台湾における人類学的研究の再考へ向けて」 愛知大学国際中国学研究センター国際シンポジウム報告書 『漢族・少数民族研究の接合: クロスオーバーの視点からみる漢族と少数民族の社会と文化』 pp. 48-54.
- 2007 “Introduction—Cultural Encounters between People of Chinese Origin and Local People: Case Studies from the Philippines and Vietnam”, *Cultural Encounters between People of Chinese Origin and Local People: Case Studies from the Philippines and Vietnam—Proceedings of International Workshop*, Mio Yuko ed. ILCAA, pp. ix-x.
- 2006 「中国系移民の僑居化と土着化—ベトナム・ホイアンの事例から—」 伊藤亞人先生退職記念論文編集委員会編 『東アジアからの人類学—国家・開発・市民—』 pp. 85-102 東京: 風響社.
- 2006 「『台湾における日本認識』特集 序」 『アジア・アフリカ言語文化研究』 71: 41-44. 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.

- 2006 「植民地下の「グレーゾーン」における「異質化の語り」の可能性—『民俗台湾』を例に—
『アジア・アフリカ言語文化研究』 71: 181-203 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.
- 2006 「民間信仰の「空間」と「神-人関係」の再構築—台湾漢人社会の事例から— 西井凉子・田
辺繁治編『社会空間の人類学 マテリアリティ・主体・モダニティ』 pp. 228-254 京都：世
界思想社.
- 2006 「土着化か、あるいは漢化か？—「漢族系台湾人」のエスニシティについて—」『中国 21』 25:
221-230.
- 2005 「東アジア沿海地域における「民俗文化」の意味 20 世紀末における再生・創造」三尾裕子
編『民俗文化の再生と創造—東アジア沿海地域の人類学的研究』 pp. 1-16 東京：風響社.
- 2005 「中国民間信仰のダイナミズム—道教との関係」三尾裕子編『民俗文化の再生と創造—東ア
ジア沿海地域の人類学的研究』 pp. 213-241 東京：風響社.
- 2005 「『民俗台湾』と大東亜共栄圏」貴志俊彦・荒野泰典・小風秀雅編『「東アジア」の時代性』
pp. 144-160 広島：溪水社.
- 2005 「前言—小川・浅井資料と AA 研」三尾裕子・豊島正之編『小川尚義 浅井恵倫 台湾資料
研究』 pp. 5-10 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.
- 2004 「台湾文献特集導言：「在台湾發現日本」」（中文）『台湾文献』 55(3): 1-6.
- 2004 「以殖民統治下の「灰色地帯」做為異質化之談論的可能性—以《民俗台湾》為例—」（中文）
『台湾文献』 55(3): 25-61.
- 2004 「王爺信仰の歴史民族誌—台湾漢人の民間信仰の動態—」東京大学大学院総合文化研究科博
士学位請求論文(2004 年 4 月提出, 10 月博士学位取得).
- 2004 「祀る」関一敏・大塚和夫編『宗教人類学入門』 pp. 136-148 東京：弘文堂.
- 2003 「從兩岸媽祖廟的交流來談台灣的民族主義」（中文）林美容・張珣・蔡相輝編『媽祖信仰的
發展與變遷 媽祖信仰與現代社會國際研討會論文集』 pp. 193-204 北港：財団法人北港朝
天宮.
- 2003 「台湾民間信仰研究：日本人觀點」（中文）張珣・江燦騰合編『台湾本土宗教研究的新視野
和新思惟』 pp. 279-325 台北：南天書局.
- 2003 「從地方性的廟宇到全台性的廟宇—馬鳴山鎮安宮的發展及其祭祀圈」（中文）林美容主編『第
3 屆國際漢學會議論文集 信仰、儀式與社會』 pp. 229-296 台北：中央研究院民族學研究所.
- 2002 「台湾漢民族“作为一种火山山脉模式的中国宗教”论」（中文）邓晓华・林美治編『中国人
类学的理论与实践』 pp. 197-207 香港：華星出版社.
- 2001 「民衆の神々と道教」野口鐵郎他編『講座 道教 第 5 卷 道教と中国社会』 pp. 88-103
東京：雄山閣.
- 2001 「中国民間信仰のダイナミズム-道教との関係」三尾裕子編著『東アジア沿海地域における
民俗文化再生過程の人類学的研究』平成 10 年度-平成 12 年度科学研究費補助金（基盤研究
（A））研究成果報告書（研究代表者：三尾裕子） pp. 77-102.

- 2001 「台湾ナショナリズムについての一考察—廟宇を通じた兩岸交流を契機として」 吉原和男、クネヒト・ペトロ編『アジア移民のエスニシティと宗教』 pp. 213-238 東京：風響社.
- 2001 「序—「中華」における文化の多中心性」三尾裕子・本田洋編『東アジアにおける文化の多中心性』 pp. 1-15 東京：風響社.
- 1999 「漢民族の民間信仰—「中国的宗教」論への一視角」 末成道男編『中原と周辺 人類学的フィールドからの視点』 pp. 221-239 東京：風響社.
- 1999 「雲林県馬鳴山鎮安宮の発展と地域社会」『アジア・アフリカ言語文化研究』 58: 45-117.
- 1999 「王爺信仰の発展—臺灣與中國大陸之歴史和實況的比較」(中文) 徐正光・林美容編『人類學在台灣的發展』 pp. 31-67 台北：中央研究院民族學研究所.
- 1999 「日本植民地期の台湾漢人に関する歴史学・文化人類学・民俗学的研究について」1998 年度財団法人交流協会日台交流センター歴史研究者交流事業報告書.
- 1998 「日本の台湾民間信仰研究」 林美容・三尾裕子編『台湾民間信仰研究文献目録』 pp. 9-38 東京：風響社.
- 1998 「「一人前の女性」になれなかった女神たち—漢人社会における宗教とジェンダー」 田中雅一編『女神』 pp. 31-63 東京：平凡社.
- 1997 「閩南地域の王爺廟再興—台湾との交流をめぐって」 末成道男編『東アジアの現在—人類学的研究の試み』 pp. 117-129 東京：風響社.
- 1997 「中国福建省閩南地区の王爺信仰の特質—実地調査資料の整理と分析—」『アジア・アフリカ言語文化研究』 54: 151-193.
- 1996 「中国の海人・水人と日本」 大林太良編『日本の古代 8 海人の伝統』 pp. 341-370 東京：中公文庫 (1987 同タイトル論文を文庫化に伴い加筆修正).
- 1996 「シンガポール華人の伝統宗教の変容と組織化運動」 水島司編『複合社会の形成原理に関する基礎研究 重点領域研究「総合的地域研究の手法確立—世界と地域の共存のパラダイムを求めて」成果報告書シリーズ 29: 17-34 文部省科学研究費補助金重点領域研究「総合的地域研究」総括班.
- 1995 「台湾の女神の女性性—観音菩薩・媽祖・註生娘娘」『アジア・アフリカ言語文化研究』 48・49 合併号: 1-22.
- 1995 「賭事と「神々」—台湾漢人の民間信仰における霊的存在の動態」 田辺繁治編『アジアにおける宗教の再生—宗教的経験のポリティクス』 pp. 55-80 京都：京都大学学術出版会.
- 1995 “Deified Ghosts: Popular and Authorized Interpretations of Religious Symbols”, in Suenari Michio, J. S.Eades and C. Daniels (eds). *Perspectives on Chinese Society: Views from Japan*. pp. 136-155. CSAC (Mio 1994 を加筆修正).
- 1994 “Deified Ghosts: Popular and Authorized Interpretations of Religious Symbols”, in Suenari Michio, J. S.Eades and C. Daniels (eds). *Perspectives on Chinese Society: Views from Japan*. pp. 132-151. ILCAA.
- 1992 「漁民の社会と信仰—日本と中国の比較を軸に—」 大林太良編『海と列島文化 10 海から見た日本文化』 pp. 571-608 東京：小学館.

- 1991 「内海の漁民と島々の生活史」 大林太良編『海と列島文化 9 瀬戸内海の海人文化』pp. 423-464 東京：小学館.
- 1991 「台湾漢人の宗教祭祀と地域社会」『漢族と隣接諸族—民族のアイデンティティの諸動態』国立民族学博物館研究報告別冊 14 号: 103-134.
- 1990 「「有応公」信仰に見る漢人の世界観」阿部年晴・伊藤亜人・荻原真子編『民族文化の世界』(上): 223-240 東京：小学館.
- 1990 「〈鬼〉から〈神〉へ—台湾漢人の王爺信仰について—」『民族学研究』55(3): 243-268.
- 1989 「漢人社会の超自然的存在についての一考察—台湾の事例を中心として—」東京大学教養学部人文科学科紀要『文化人類学研究報告』5: 19-48.
- 1988 「境の見えない村—台湾漁民社会の事例から—」『文化人類学』5: 83-99.
- 1988 「香港水上居民をめぐる漢族意識」『文化人類学』5: 164-171.
- 1987 「中国の海人・水人と日本」大林太良編『日本の古代 8 海人の伝統』pp. 291-316 中央公論社.
- 1987 「廟宇活動與地方社區—以屏東縣琉球鄉漁民社會爲例—」(中文)『思與言』25(3): 257-272.
- 1985 「中国水上居民の実像」大林太良・宮田登・荻原秀三郎編『日本人の原風景 2 うみ』pp. 75-82 東京：旺文社.

研究ノート

- 2025 「私の台湾原住民族研究覚書」『哲学』154: 215-229.
- 2024 「フィールド発見型のフィールドワーカーボーダーを越えて研究すること」『社会人類学年報』50: 65-77.
- 2023 「植民地主義 植民地統治の歴史はどのように記憶されるのだろうか」横山智・湖中真哉・油井義道・綾部真雄・森本泉・三尾裕子編『フィールドから地球を学ぶ—地理授業のための60のエピソード』pp. 80-81 古今書院.
- 2020 「疫病と台湾の民間信仰」玄武岩・藤野陽平編『アジア遊学 253 ポストコロナ時代の東アジア 新しい世界の国家・宗教・日常』pp. 232-243 勉誠出版.
- 2014 「「体験」の語りを伝えていくこと—約七〇年の時を越えた「再会」を通して考える—」西井凉子編『人はみなフィールドワーカーである 人文学のフィールドワークのすすめ』pp. 244-261 東京：東京外国語大学出版会.
- 2011 「張修慎論文へのコメント」『現代台湾研究』39: 108-110.
- 2011 「コメント F」『台湾口述歴史研究』4: 72-75 2011 年 3 月.
- 2009 「華南セッション・コメント」岡洋樹編『東北大学東北アジア研究センター・シンポジウム 内なる他者=周辺民族の自己意識の中の「中国」—モンゴルと華南の視座から—』東北大学東北アジア研究センター pp. 77-80.
- 2005 「普段着の台湾ナショナリズム」『アジア遊学』81: 48-58.
- 2003 「神々の変化—台湾漢人の宗教実践の一側面—」『アジア遊学』58: 92-100.

- 2002 「宗教の絆が生み出すトランス・ナショナリズム：台湾における民間信仰の事例から (III 発表, 宗教が創り出す新しい絆, ワークショップ (1), 2001 年度ワークショップ記録) 『宗教と社会』 (8): 160-163.
- 2001 「華僑・華人「経済文化」の検証」 川田順造編『文化としての経済』 pp. 86-100 山川出版社 (1999 年同名論文の再録) 2001 年 5 月 10 日.
- 1999 「華僑・華人「経済文化」の検証」 『国際交流』 83: 56-62. 東京：国際交流基金.
- 1998 “Comments on Leo Suryadinata’s Paper,” *Proceedings of the Symposium: Human Flow and Creation of New Cultures in Southeast Asia*, pp. 103-106 ILCAA.
- 1988 「神の宿る奥—台湾・琉球島の漁民の信仰—」 『季刊民族学』 46: 116-122.
- 1985 「台湾の漢人漁村社会の概況」 『民族学研究』 49(4): 363-372.

書評・文献紹介・文献解題

- 印刷中 《書評》「白根晴治『帝国のゲートウェイ——植民地台湾と日本の南中国・東南アジアへの拡張』 Seiji Shirane, *Imperial Gateway: Colonial Taiwan and Japan’s Expansion in South China and Southeast Asia, 1895-1945*. Cornell University Press, 2022」 『日本研究』 71.
- 2023 《書評》「許雪姬著 [羽田朝子・殷晴・杉本史子訳] 離散と回帰：「満洲国」の台湾人の記録」 『華僑華人研究』 20: 108-112.
- 2007 《書評》「道教の全体像を見渡す格好の入門書 『中国人の宗教・道教とは何か』」 『東方』 315: 26-29.
- 2006 《新刊レビュー》「個別社会に対する徹底した実証研究『中国の民族表象 南部諸地域の人類学・歴史学的研究』」 『民博通信』 114: 22.
- 2005 《書評》「上水流久彦著『台湾漢民族のネットワーク構築の原理—台湾の都市人類学的研究』」 『社会経済史学』 71(3): 104-106.
- 2003 《新刊レビュー》「人はなぜ、移動を繰り返すのか 『流動する民族 中国南部の移住とエスニシティ』」 『民博通信』 100: 24.
- 2003 《Book Review》“Dell’ Orto, Alessandro Place and Spirit in Taiwan: Tudi Gong in the Stories, Strategies and Memories of Everyday life.” *Asian Folklore Studies*, LXII-2: 337-339.
- 2001 《書評》「台湾原住民研究への記念碑 『台湾原住民研究概覧』」 『東方』 250: 18-21 2001 年 12 月 5 日.
- 2000 《新刊紹介》「M. ウルフ著 (中生勝美訳) 『リン家の人々 台湾農村の家庭生活』」 『民族学研究』 65(2): 198.
- 1998 《書評》「瀬川昌久著『族譜 華南漢族の家族・風水・移住』」 『民族学研究』 62(4): 573-577.
- 1995 《文献解題》「陳東原 1928『中国婦女生活史』」 末成道男編『中国文化人類学文献解題』 p. 89 東京：東京大学出版会.
- 1995 《文献解題》「陳顧遠 1937『中国婚姻史』」 末成道男編『中国文化人類学文献解題』 p. 89 東京：東京大学出版会.

- 1995 《文献解題》「窪徳忠 1986『道教の神々』」 末成道男編『中国文化人類学文献解題』 p. 104
東京：東京大学出版会 1995 年 2 月 28 日.
- 1995 《文献解題》「Baker, Hugh D. R./ Feuchtwang, S.(eds.) 1991 *An Old State in New Settings: Studies in the Social Anthropology of China in Memory of Maurice Freedman.*」 末成道男編『中国文化人類学文献解題』 p. 108 東京：東京大学出版会.
- 1995 《文献解題》「渡邊欣雄 1991『漢民族の宗教—社会人類学的研究—』」 末成道男編『中国文化人類学文献解題』 p. 109 東京：東京大学出版会.
- 1995 《文献解題》「仁井田陞 1952『中国の農村家族』」 末成道男編『中国文化人類学文献解題』 p. 113 東京：東京大学出版会.
- 1995 《文献解題》「丸井圭治郎 1919『台湾宗教調査報告書』第一卷」 末成道男編『中国文化人類学文献解題』 p. 134 東京：東京大学出版会.
- 1995 《文献解題》「鈴木清一郎 1934『台湾旧慣冠婚葬祭と年中行事』」 末成道男編『中国文化人類学文献解題』 p. 135 東京：東京大学出版会.
- 1995 《文献解題》「曾景来 1938『台湾宗教と迷信陋習』」 末成道男編『中国文化人類学文献解題』 p. 13 東京：東京大学出版会.
- 1995 《文献解題》「増田福太郎 1939(1968)『台湾の宗教—農村を中心とする宗教研究附童謡』」 末成道男編『中国文化人類学文献解題』 p. 136 東京：東京大学出版会.
- 1995 《文献解題》「Wolf, Margery 1968 *The House of Lim: A Study of a Chinese Farm Family.*」 末成道男編『中国文化人類学文献解題』 p. 139 東京：東京大学出版会.
- 1995 《文献解題》「Ahern, Emily M. 1981 *Chinese Ritual and Politics.*」 末成道男編『中国文化人類学文献解題』 p. 144 東京：東京大学出版会.
- 1995 《文献解題》「林美容（編） 1991『台湾民間信仰研究書目』」 末成道男編『中国文化人類学文献解題』 p. 252 東京：東京大学出版会.
- 1995 《書評》「竹村卓二編『儀礼・民族・境界—華南諸民族「漢化」の諸相』」 『民族学研究』 60(2): 175-178 1995 年 9 月 30 日.
- 1992 《書評》「Hugh D. R.Baker and Stephan Feuchtwang (eds.): *An Old State in New Settings: Studies in the Social Anthropology of China in Memory of Maurice Freedman*」 『アジア・アフリカ言語文化研究』 44: 229-231.
- 1987 《書評》「費孝通（小島晋治ほか訳）『中国農村の細密画—ある農村の記録 1936〜82—』」 『民族学研究』 52(3): 258-260.

翻訳

- 2011 林清財著（陳麗君・三尾裕子訳）「学者と災害：台湾小林平埔原住民族文化重建協会の試み」 『Field+』 6: 28-29. <https://tufts.repo.nii.ac.jp/records/2339>
- 2006 呂紹理著（三尾裕子監訳）『時間と規律：日本統治期台湾における近代的時間制度導入と生活リズムの変容』 東京：交流協会.

- 2005 鄧曉華・楊翊著（ウチラルト・三尾裕子訳）「宗族社会と民間信仰—三つの客家村落における民間信仰の人類学的考察」 三尾裕子編『民俗文化の再生と創造—東アジア沿海地域の人類学的研究』pp. 23-68 東京：風響社.
- 2005 李壬癸著（三尾裕子訳）「台湾言語学の先駆者-小川尚義教授」 浅井・小川未整理資料の分類・整理・研究プロジェクト（三尾裕子・豊島正之編）『小川尚義 浅井恵倫台湾資料研究』pp. 282-287. 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.
- 1987 ストラザーン・マリリン著（木内（三尾）裕子訳）「自然でも文化でもなく——ハーゲンの場合」アードナー他著 山崎カヲル監訳『男が文化で女は自然か？：性差の文化人類学』pp. 209-281 晶文社.

その他（エッセイ、事典項目、報告など）

- 2025 「『日本華僑華人学会』について」『Web 東方 研究会にきく④』, https://www.toho-shoten.co.jp/web_toho/?p=6641
- 2025 「『民俗台湾』」 春山明哲・松田康博・松金公正・川上桃子編『台湾の歴史 大全』175-176 藤原書店.
- 2024 「土地公廟から見る日本最南端の台湾系移住民社会」 website 日本華僑華人学会「研究の現場」, <https://www.jssco.org/research-sites-post/%e5%9c%9f%e5%9c%b0%e5%85%ac%e5%bb%9f%e3%81%8b%e3%82%89%e8%a6%8b%e3%82%8b%e6%97%a5%e6%9c%ac%e6%9c%80%e5%8d%97%e7%ab%af%e3%81%ae%e5%8f%b0%e6%b9%be%e7%b3%bb%e7%a7%bb%e4%bd%8f%e6%b0%91%e7%a4%be%e4%bc%9a/>
- 2024 「第 11 期会長就任挨拶」日本華僑華人学会ニューズレター 第 85 号 p. 1 website 日本華僑華人学会 <https://www.jssco.org/news/>
- 2023 「推薦序 台湾在地知識の力量—序《水邊行事》」 林伯奇・林美容『水邊行事』 pp. 2-6 前衛 2023 年 10 月.
- 2022 「執筆ノート 『台湾で日本人を祀る——鬼(クイ)から神(シン)への現代人類学』」『三田評論』2022 年 6 月号 94 頁, <https://www.mita-hyoron.keio.ac.jp/literary-review/202206-3.html>
- 2021 「パイナップルの甘味と酸味」『三田評論』2021 年 8・9 月合併号 64 頁, <https://www.mita-hyoron.keio.ac.jp/researchers-eye/202108-1.html>
- 2021 「所長就任挨拶」『慶應義塾大学東アジア研究所 ニューズレター』35: 7.
- 2020 「マグロと土瓶蒸し—最初のフィールドワークと台湾の和食」『日本台湾学会ニューズレター』38: 9-10.
- 2020 「神社を持つ「日本神」廟」 植野弘子・上水流久彦編『帝国日本における越境・断絶・残像 モノの移動』pp. 143-146 東京：風響社.
- 2018 「第 10 分科会 自由論題（社会言語学・政治学）」『日本台湾学会ニューズレター』35: 14-15.
- 2018 「膨張する中国による東アジア新秩序下の中台関係に関する人類学的研究 I 膨張する中国のもとでの台湾人の生活戦略」『2017 年度大学研究助成 アジア歴史研究報告書』1-10 公益財団法人 JFE21 世紀財団.

- 2016 「第2分科会（人類学）台湾漢人の民間信仰から見る 歴史の記憶・想像・創造」『日本台湾学会ニューズレター』31: 5-6.
- 2014 「鄭成功ゆかりの平戸で考える」『台湾協会報』715: 4.
- 2014 「生きていることば『うるさい』を例に」『台湾協会報』714: 4.
- 2013 「ある古老との出会いから考えたこと」下村作次郎ほか編『台湾原住民族の音楽と文化』50-52 草風館.
- 2011 「フィールドこそが知的創造の原点」『Globe Voice』4: 22-23 東京外国語大学 2011 年 10 月.
- 2011 「為了台湾的未来—謹賀國立臺灣歷史博物館開館」呂理政他編『榮耀臺灣—國立臺灣歷史博物館開館特輯』14-17 國立臺灣歷史博物館.
- 2009 「フュージョンする中国系移民」『Field+』2: 2. <https://tufts.repo.nii.ac.jp/records/2263>
- 2009 「ドラゴンが飛んでいった 現地社会へ溶け込んだ中国系移民」『Field+』2: 2-3. <https://tufts.repo.nii.ac.jp/records/2263>
- 2007 「海の女神「媽祖」」*Ship & Ocean Newsletter* 175: 6-7.
- 2006 「「植民地」時代の研究遺産」『月刊みんぱく』2006 年 9 月号: 15.
- 2005 「「臺灣資料 テキスト・音・映像で見る台湾 一九三〇年代の小川・浅井コレクションを中心として」展覧会」『東京外国語大学学報』109: 2.
- 2005 「「臺灣資料 テキスト・音・映像で見る台湾 一九三〇年代の小川・浅井コレクションを中心として」展覧会」アジア・アフリカ言語文化研究所『通信』114: 3-16.
- 2000 「150 年で世界中に広がった中国人」『サイアス』2000 年 2 月号 pp. 81-82.
- 2000 「座談会 私の描く家族のすがた」山田洋次・T. J. ヘイスティングス・三尾裕子・神山亮子『婦人之友』2000 年 1 月号: 22-34.
- 1999 「日本時代の台湾」『月刊しにか』1999 年 4 月号 120-121.
- 1999 「台湾漢民族の「神」を体得する旅の途上から」『季刊 リトルワールド』71: 3-4.
- 1999 「台湾の宗教」天兒慧他編『岩波現代中国事典』pp. 729-730 岩波書店.
- 1999 「台湾の民間信仰」天兒慧他編『岩波現代中国事典』p. 746 岩波書店.
- 1999 「童乩」天兒慧他編『岩波現代中国事典』p. 761 岩波書店.
- 1999 「長老教会」天兒慧他編『岩波現代中国事典』p. 882 岩波書店.
- 1998 「廟」『月刊しにか』9(8): 22-23.
- 1998 「東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所」『地域研ニュース』7: 4.
- 1997 「厦門市長距離バス強奪未遂事件—改革開放と中国の治安事情—」アジア・アフリカ言語文化研究所『通信』89: 15-19.
- 1996 「兩岸交流促進の裏で—台湾人と中国人の意識の違い—」『東亜』（霞山会）349: 4-5.
- 1995 「東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所「王育徳文庫」簡介」『台湾青年』412: 29-32.
- 1994 「光棍倶楽部の政治評論家たち」『異文化との出会い—アジア・アフリカのフィールドノートから』東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 pp. 217-219.

- 1994 「〈連載〉調査こぼればなし (34): 女はつらいよ?」 文部省科学研究費・国際学術研究『海外学術調査ニューズレター』27: 31-32.
- 1994 「〈連載〉調査こぼればなし (35): 見ているようで ...: フィールドワークはアカンボに学ぼう?」 文部省科学研究費・国際学術研究『海外学術調査ニューズレター』28: 35-36.
- 1994 「東京外国語大学亞非語言文化研究所「王育徳文庫」簡介」(陳美蓉訳)『台湾史料研究』4: 37-40.
- 1992 「台湾海峡の間で」 アジア・アフリカ言語文化研究所『通信』75: 8-11.
- 1992 「光棍倶楽部の政治評論家達」 アジア・アフリカ言語文化研究所『通信』74: 38.
- 1992 「台湾漢人の世界観」 *Annual Report of the Murata Science Foundation* No. 5: 183-184 村田学術振興財団.
- 1992 「親と離れて暮らす子供たち—昨今の台湾子供事情」『東亜』(霞山会) 306: 4-6.
- 1991 「知られざる台湾—庶民の消費が支える経済」『DKM マネージメントレポート』1991 年 5 月号: 45-51.
- 1990 「中国人の接客法」アジア・アフリカ言語文化研究所『通信』69: 26.
- 1990 「中国庶民の経済学 下 進展する「経済開放」の実態を見る」『DKM マネージメントレポート』1990 年 6 月号: 60-65.
- 1990 「中国庶民の経済学 上 「暴乱」後の中国見聞記」『DKM マネージメントレポート』1990 年 5 月号: 60-65.

口頭発表

- 2024 《口頭発表》「土着化する石垣島の台湾系「華僑」の人類学」 日本華僑華人学会オンライン研究会 2024 年 12 月 17 日.
- 2024 《講演》「大学における D・I の現状と今後の展望—ジェンダー平等の視点から」 創価大学ダイバーシティ・インクルージョンセンター・SDGs 推進センター共催セミナー 2024 年 6 月 8 日.
- 2023 《講演》「透過民間信仰面出現の歴史 以將日本人奉爲神明的信仰爲例」 2023 年 12 月 29 日 輔仁大學(台湾)宗教学系.
- 2023 《オムニバス授業》「宗教からみた台湾社会」立教大学「台湾から世界を考える」2022 年 6 月 19 日.
- 2022 《国際シンポジウム発表》「在臺灣做宗教人類學——從馬鳴山鎮安宮的田野經驗談起」 代遠天長: 南鯤鯓代天府 (1662~)——360 大圓周代巡信仰國際論壇 2022 年 11 月 11-13 日 台南: 南鯤鯓代天府.
- 2022 《オムニバス授業》「台湾における日本認識」 東亜大学「アジア共同体論」2022 年 10 月 31 日.
- 2022 《国際学会発表》“Deifying Japanese Spirits of the Dead in Taiwan: A Study of the Intersection between Post-coloniality and Post-imperiality,” The 4th World Congress of Taiwan Studies: Taiwan in the Making, June 27-29, 2022, University of Washington, Seattle, USA.

- 2022 《公開シンポジウム》「台湾社会の中の「日本」の変遷—文化人類学における可視化と不可視化」 日本台湾学会第 24 回学術大会公開シンポジウム「日台関係の 50 年—日華断交を超えて—」2022 年 5 月 28 日 法政大学.
- 2022 《オムニバス授業》「宗教からみた台湾社会」 立教大学「台湾から世界を考える」2022 年 6 月 20 日.
- 2021 《講演》「台湾で日本人を祀る—民間信仰・戦争の記憶・観光資源」 駒澤大学宗教学研究会第 193 回宗教学研究会（公開講演会）2021 年 11 月 19 日（オンライン開催）.
- 2021 《オムニバス授業》「疫病を制御する—統治・民間信仰・民衆史」 九州大学 21 世紀プログラム × 台湾スタディーズ共同企画「台湾事情」第 4 回 2021 年 1 月 30 日（オンライン開催）.
- 2020 《ウェビナー発表》「疫病を退治する「日本神」—台湾の民間信仰の文脈に埋めこまれた疫病と庶民史」 北海道大学ウェビナー「ポストコロナ時代の東アジア② コロナ時代にみる東アジアの信仰の姿」 2020 年 6 月 26 日.
- 2019 《国際学会発表》“Social Memory Regarding War Experiences: A Case of Worshipping Japanese Spirits in Taiwan,” The 2nd Annual Conference of the EASSSR, July 27–28 2019, Hosted by Hokkaido University.
- 2019 《国際シンポジウム》「趣旨説明」第 5 回日本文化人類学会国際シンポジウム「東アジアにおける人類学の国際化／グローバル化：第三部 台湾と日本」2019 年 1 月 26 日，慶應義塾大学.
- 2018 《国際学会発表》「死後成神的風俗習慣之初步研究：日本與台灣之比較」（中文）“Religion, Violence and Multiculturalism: An Interdisciplinary Inquiry”, Nov.31–Dec.1, 2018, organized by the College of Liberal Arts at National Cheng Kung University.
- 2017 《国際学会発表》「將殖民地經驗與戰爭經驗「馴化」——個祭祀日本人為神的信仰事例」（中文）第二屆華人宗教國際學術研討會 2017 年 11 月 23 日至 11 月 26 日 於泰國國立法政大學（タイ タマサート大学）.
- 2016 《口頭発表》「植民地経験，敗戦経験を『飼いならす』—台湾・東港の民間信仰を事例に」 日本台湾学会第 18 回学術大会 2016 年 5 月 21 日（土）於宇都宮大学峰キャンパス.
- 2015 《招待講演》「日本在当前台湾所表示的意義内容的転移—人類学的観点」 中央研究院民族学研究所 60 周年所慶「跨・文化」研討会 “Crossing Cultures” roundtable I (from Taiwan) 2015 年 9 月 18 日 於中央研究院民族学研究所.
- 2015 《招待講演（キーノートスピーチ）》「現代台湾における「日本」の意味の変容について—人類学的視点から」 第 7 回台湾ローマ字国際会議 2015 年 5 月 23 日 於国立成功大学.
- 2014 《国際学会招待パネル発表》“Continuity and Discontinuity seen in the Japanese Anthropological Tradition : A Case of Dr. UTSURIKAWA Nenzo,” in World War II Anthropology: Austrians and Germans in Poland; Japanese in Asia; Anthropological Research and the Search for Survivor, American Association for the Advancement of Science, Pacific Division Annual Meeting, June 17–20, 2014 University of California, Riverside, Symposium (Thursday afternoon, June 19th).

- 2013 《ワークショップ》「移民：ベトナムで現地化した中国移民」 公開ワークショップ 「難民ってなんだろうーアジア・アフリカの国からはみだした人々」 2013 年 1 月 12 日 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ.
- 2012 《招待講演》“An Anthropological Perspective on Migration of Chinese Origin,” 中国华侨华人历史研究, 北京大学华侨华人研究中心 (共催)「北京大学华侨华人讲座系列 (二)」2012 年 5 月 2 日 北京大学歴史学系.
- 2012 《招待講演》「日本對臺灣の人類學的回顧與展望」(中文) 北京大学歴史学系主催 2012 年 5 月 3 日 北京大学歴史学系.
- 2012 《口頭発表》「植民地台湾における「近代」: 迷信を事例に」 国立民族学博物館共同研究会「日本の「近代化」をアジア・アフリカ諸社会との比較で再検討する」2012 年 6 月 17 日 国立民族学博物館.
- 2011 《口頭発表》「「華僑・華人」研究の視角に関する再検討」 共同利用・共同研究課題「多元的想像・動態的現実としての「華人」をめぐる研究」第 2 回研究会 2011 年 10 月 30 日 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.
- 2010 《招待講演》“Historical, Present-day and Future Prospects for Taiwan Studies in Japan: An Anthropological Perspective”, An International Forum on the Past, Present and Future of Taiwan Studies beyond Taiwan: Europe, North America, and Japan Compared, Institute of Sociology, Academia Sinica, November 5–6, 2010.
- 2010 《国際ワークショップ》“Historical Recognition Constructed under Control of Multi-layered Foreign Powers, Including Japan: An Anthropological Comparison between Taiwan and Micronesia”, CAPAS-MARC 2010 Workshop: Migration, Network and Colonial Legacies in Pacific Islands, Academia Sinica, November 11–12, 2010.
- 2009 《シンポジウム》「東アジア・台湾」 南山大学人類学研究所主催シンポジウム「21 世紀アジア社会の人類学: 解雇と展望」2009 年 12 月 19 日.
- 2009 《招待講演》「日治時期の人類學與平埔族」(中文) 國立台湾歷史博物館「2009 年走入歷史田野一族群・歷史與文化」2009 年 7 月 6 日–7 月 12 日 國立成功大學.
- 2009 《国際シンポジウム》「都市化與民間信仰實踐主體的變貌—以 1990 年代雲林縣馬鳴山鎮安宮為例」(中文) 第 2 回東亞歷史變遷國際學術研討會「宗教傳播與宗教衝突」2009 年 11 月 14–15 日 國立成功大學.
- 2008 《招待講演》「越南中部華裔的宗教信仰初探」(中文) 2008 年 3 月 26 日 真理大學.
- 2008 《招待講演》「越南中部華人的移民經驗 文化變遷與民族認同」(中文) 2008 年 3 月 27 日 於國立清華大學人類學研究所, 2008 年 3 月 28 日 高雄師範大學客家研究所.
- 2008 《招待講演》「以宗教來看的越南華裔的土著化」(中文) 2008 年 4 月 1 日 於慈濟大學宗教研究所.
- 2008 《口頭発表》「プロジェクトの方向性について」 AA 研共同研究プロジェクト「アジア・アフリカ地域におけるグローバル化の多元性に関する人類学的研究」第 1 回研究会 2008 年 6 月 28 日 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.

- 2008 《講演》「殖民統治下の「灰色地帯」—『民俗台湾』的言論空間」 2008 年 9 月 16 日於（台湾）國立成功大學台灣文學系.
- 2008 《シンポジウム》「警察官用原住民語教科書から形成される原住民へのまなざし」 科研基盤研究（A）〈台湾における植民地主義に関する歴史人類学的研究—「日本」認識をめぐって〉シンポジウム「台湾における植民地主義と日本認識—歴史・人類学的研究」 2008 年 9 月 27, 28 日 東洋大学.
- 2008 《口頭発表》「統治と学問：台北帝国大学成立以前の植民地官僚による台湾研究」 国立民族学博物館共同研究会「日本人類学史の研究」 2008 年 10 月 18 日 国立民族学博物館.
- 2008 《講演》「〈媽祖〉は誰にとっての神か？—グローバル化・ナショナリズム・ローカル化—」 2008 年度東アジア研究所講座「東アジアの民衆文化と祭祀空間」 2008 年 12 月 3 日 慶應義塾大学.
- 2007 《シンポジウム》「華南セッション・コメント」 東北大学東北アジア研究センター・シンポジウム「内なる他者＝周辺民族の自己認識の中の「中国」—モンゴルと華南の視座から—」 2007 年 3 月 10 日 東北大学東北アジア研究センター.
- 2007 《講演》「學者與殖民者—日治時期學術調查的真相—」（中文） 2007 台湾文化與歷史系列講座 2007 年 3 月 24 日 台北保安宮.
- 2007 《講演》「祖国はいずこに？—台湾の人々の生活と“中国”」 東京外国語大学／読売新聞立川支局共催 連続市民講座「世界の〈生〉きるかたち」 2007 年 5 月 12 日 東京外国語大学.
- 2007 《口頭発表》「土着化した中国系の人々について—ベトナム、ホイアンにおける『明郷』を事例に」 慶應義塾大学東アジア研究所プロジェクト「東アジアにおける宗教文化の再構築」第 10 回研究会 2007 年 7 月 21 日 慶應義塾大学（三田）.
- 2007 《国際学会発表》“Sojourning and Indigenization of the People of Chinese Origin: a Case Study of Hoi An, Vietnam,” The 5th International Convention of Asia Scholars. Aug.2, 2007, Kuala Lumpur.
- 2007 《国際学会発表》“Indigenization and Ethnicity of People of Chinese Origin: Case of Chinese Peranakan in Central Vietnam,” The 6th Conference of the International Society for the Study of Chinese Overseas, Sep. 22, 2007 Peking University, China.
- 2007 《学会発表》「ベトナムの中国系移民の土着化とアイデンティティーホイアンの「明郷」を事例に一」 日本華僑華人学会 2007 年度大会 2007 年 11 月 17 日 慶應義塾大学.
- 2007 《口頭発表》「ホイアンにおける「華人」と「明郷」(Chinese Peranakan)」 平成 19 年度第 2 回「中国系移民の土着化／クレオール化／華人化についての人類学的研究」研究会 平成 19 年 12 月 1 日（日） 東京外国語大学本郷サテライト.
- 2006 《口頭発表》「「植民地」における人類学を検討することの意味—『民俗台湾』を事例に」 科学研究費補助金基盤研究（A）『台湾における植民地主義に関する歴史人類学的研究』第 3 回研究会（代表：植野弘子） 2006 年 7 月 9 日 東洋大学.
- 2006 《国際シンポジウム》「台湾で「漢人」とは誰か？」 愛知大学国際中国学センター国際シンポジウム「漢族・少数民族研究の最前線」 2006 年 7 月 15, 16 日 愛知大学.

- 2006 《口頭発表》「東京外国語大学亜非語言與文化研究所所蔵之「小川尚義・浅井惠倫台湾資料：内容及其學術與社会価値」(中文) 2006 年 11 月 22 日 台湾 中央研究院民族學研究所.
- 2005 《口頭発表》「台湾における「日本」」 海外學術調査総括班フォーラム 2005 年 6 月 24 日 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.
- 2005 《講演》「越境とアイデンティティー中国系移民の「土着化」を中心に―」 第 60 回トランスナショナリティ研究セミナー 2005 年 7 月 22 日 大阪大学大学院人間科学研究科.
- 2005 《口頭発表》「ベトナム ホイアンにおける 2 種類の中国系住民社会について」 平成 17 年度第 2 回「中国系移民の土着化／クレオール化／華人化についての人類学的研究」研究会 2005 年 12 月 11 日(日) 名古屋市立大学.
- 2004 《国際ワークショップ》「植民地下の「グレーゾーン」における「異質化の語り」の可能性―『民俗台湾』を例に―」 国際ワークショップ「台湾における日本認識」 2004 年 3 月 27, 28 日 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.
- 2003 《講演》「台湾概論」, 「台湾的生活」 もみじ山文化セミナー 世界を知るシリーズ「台湾」 2003 年 1 月 28 日(火), 2 月 18 日(火) なかの ZERO.
- 2003 《学会発表》「座長前言」 日本台湾学会第 5 回学術大会 第二分科会「抵抗でも協力でもなく―日本植民地統治期に対する歴史認識」 2003 年 6 月 14 日(土) 関西大学.
- 2003 《口頭発表》「海外中国人の非中国人化について―華人論再考」 平成 15 年度第 1 回「中国系移民の土着化／クレオール化／華人化についての人類学的研究」プロジェクト研究会 平成 15 年 6 月 28 日(土) 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.
- 2002 《口頭発表》「神-人関係の再構築：脱地縁化する台湾民間信仰の事例から」 平成 14 年度第 2 回「社会空間と変容する宗教」プロジェクト研究会 2002 年 7 月 6 日(土) 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.
- 2001 《国際シンポジウム》「從兩岸媽祖廟的交流來談台灣的民族主義」(中文) 財団法人北港朝天宮主催(中央研究院民族學研究所共催・台湾宗教學會主管)『媽祖信仰與現代社會國際學術會議』2001 年 5 月 26-28 日 台湾・雲林県北港朝天宮.
- 2001 《学会・ワークショップ》「宗教の絆が生み出すナショナリズム・トランスナショナリズム―台湾における民間信仰の事例から―」 宗教と社会学会 第 9 回学術大会ワークショップ「宗教が創り出す新しい絆」 2001 年 6 月 17 日(日) 慶應義塾大学・三田キャンパス.
- 2000 《国際シンポジウム》「從地方性的廟宇到全省性的廟宇―馬鳴山鎮安宮的發展及其祭祀圈」(中文) 『中央研究院第 3 屆國際漢學會議』2000 年 6 月 29 日-7 月 1 日 台北 中央研究院民族學研究所.
- 2000 《国際シンポジウム》「台湾漢民族“作为一种火山山脉模式的中国宗教”论」(中文) 中国人类学会『国际人类学学术会议：21 世纪人类的生存发展』2000 年 7 月 18-22 日 厦門.
- 2000 《国際ワークショップ》「中国民間信仰のダイナミズム―道教との関係」 国際ワークショップ『東アジア沿海地域における民俗文化再生過程の人類学的研究』2000 年 12 月 8-9 日 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.

- 1999 《講演》「中国人の移動とその社会・文化的適応」平成 11 年度アジア・アフリカ言語文化研究所公開講座『アジア・アフリカの 21 世紀を読み解くために一人が動く、未来を開く一』1999 年 12 月 4 日 東京外国語大学.
- 1998 《口頭発表》「エスニック・チャイニーズの多様なアイデンティティー香港・台湾・シンガポールの比較研究」国立民族学博物館共同研究会『東南アジアにおける社会倫理の人類学的研究』1998 年 3 月 13 日 国立民族学博物館.
- 1998 《口頭発表》「台湾ナショナリズムについての一考察一廟宇を通じた两岸交流を契機として一」南山大学人類学研究所共同研究「アジア移民のエスニシティと宗教」研究会 1998 年 11 月 22 日 南山大学.
- 1997 《国際シンポジウム》「台湾王爺信仰的發展：台湾與大陸歴史和實況の比較」(中文)『人類學在台湾的發展』検討會 1997 年 3 月 20-22 日 台北 中央研究院民族學研究所.
- 1997 《口頭発表》「全体的な趣旨説明・台湾」AA 研共同研究プロジェクト『「中華」に関する意識と実践の人類学的研究』平成 9 年度第 1 回研究会 1997 年 6 月 28 日 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.
- 1997 《口頭発表》「中国福建の王爺信仰：実地調査資料から」AA 研共同研究プロジェクト『「中華」に関する意識と実践の人類学的研究』平成 9 年度第 2 回研究会 1997 年 12 月 6 日 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.
- 1996 《口頭発表》「平成 6 年度, 7 年度調査報告」国際学術研究『変動する東南アジアにおける社会倫理の人類学的研究』研究会(代表: 田村克己) 1996 年 2 月 3 日 国立民族学博物館.
- 1996 《講演》「東南アジアの中国人—文化中国の時代」朝日カルチャーセンター講座『東南アジア』1996 年 3 月 11 日 朝日カルチャーセンター.
- 1996 《口頭発表》「閩南地域の寺廟再興—海外華人との交流をめぐって—」国際学術研究『周辺からみた中国の変動過程に関する人類学的研究』研究会(代表: 末成道男) 1996 年 4 月 4 日.
- 1996 《口頭発表》「東南アジアにおける華人の移住と文化形成」AA 研共同研究プロジェクト『東南アジアにおける人の移動と文化の創造』研究会(代表: 宮崎恒二) 1996 年 5 月 18 日 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.
- 1996 《学会発表》「「道教徒」の創出 シンガポール華人の文化的アイデンティティ」日本民族学会第 30 回研究大会 1996 年 5 月 26 日 静岡大学.
- 1996 《講演》「漢民族の文化と社会—移住と定住の視点から—」1996 年 6 月 29 日 南山大学人類学研究所.
- 1996 《国際ワークショップ》「閩南地域の王爺復興：台湾との交流をめぐって」ワークショップ『東アジアの変動過程の文化人類学的研究—中国文明とその周辺—』1996 年 10 月.
- 1996 《講演》「民族と文化—台湾・中国」於新宿区立戸山社会教育会館 1996 年 10 月.
- 1996 《国際シンポジウム》“Comments on Leo Suryadinata's Paper”, Human Flow and Creation of New Cultures in Southeast Asia, at Tokyo, ILCAA, December 3-5.
- 1995 《講演》「東南アジアの中国人—シンガポールを中心として」朝日カルチャーセンター講座『文化人類学』1995 年 5 月 20 日 朝日カルチャーセンター.

- 1994 《口頭発表》「中国結と台湾結—Chineseness をめぐる一考察」 国立民族学博物館共同研究『東南アジアにおける社会倫理の人類学的研究』研究会（代表：田村克己）1994 年 10 月 21 日 国立民族学博物館.
- 1994 《講演》「経済と社会・文化—儒教文化圏説を例に一」 海外日系人協会主催日系報道機関広報研修 1994 年 11 月 8 日.
- 1994 《口頭発表》「Chineseness をめぐって—台湾の事例を中心に—」 AA 研共同研究プロジェクト『漢民族と周辺少数民族の文化の接触と変容』研究会（代表：三尾裕子）1994 年 12 月 9 日 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.
- 1992 《学会発表》“Deified Ghosts: Popular and Authorized Interpretations of Religious Symbols”, American Anthropological Association 91st Annual Meeting, 1992 年 12 月 4 日 San Francisco.
- 1992 《シンポジウム》「中国のシャーマニズム—台湾を中心として—」 九州歴史大学学講座『鬼道をよくする卑弥呼』 1992 年 12 月 12 日.
- 1991 《学会発表》「台湾中西部の王爺信仰について」 第 45 回日本人類学会日本民族学会連合大会 1991 年 10 月 11-12 日 東京大学.
- 1991 《国際シンポジウム》「賭事と「神々」—台湾漢人の民間信仰における霊的存在の動態—」 国立民族学博物館特別研究 アジア・太平洋地域における民族文化の比較研究 第 4 回シンポジウム『再生する宗教』 1992 年 11 月 24 日 国立民族学博物館.
- 1991 《口頭発表》「台湾の民間信仰におけるジェンダー」 国立民族学博物館共同研究『女性—性と聖をめぐる比較文化論』研究会（代表：田中雅一）1992 年 12 月 19 日 国立民族学博物館.
- 1987 《口頭発表》「祭祀から見た台湾の地域社会—小琉球の事例から—」 科学研究費総合研究(A)『東南アジア・オセアニアにおける文化の地理的分布とクラスター分析』研究会（代表：大林太良） 1987 年 2 月 11 日 国立民族学博物館.
- 1987 《学会発表》「台湾漁民社会の「問神」について」 第 41 回日本人類学会日本民族学会連合大会 1987 年 10 月 10-11 日 京都大学.
- 1987 《口頭発表》「台湾小琉球島の問神について」 国立民族学博物館共同研究『漢族の地域性とアイデンティティ』研究会（代表：竹村卓二）1987 年 12 月 12 日 国立民族学博物館.
- 1986 《学会発表》「祭祀圏から見た台湾漢人社会の共同体の特質」 第 40 回日本人類学会日本民族学会連合大会 1986 年 11 月 2-3 日 九州大学.

展覧会企画

- 2006 「東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 臺灣資料展 一九三〇年代の小川・浅井コレクションを中心として」 国立民族学博物館／東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所共催 2006 年 9 月 21 日より 12 月 12 日まで 於国立民族学博物館
- 2006 「浅井恵倫台湾部落踏査影像展」台湾南投県九族文化村主催 2006 年 7 月 21 日より 8 月 31 日（資料提供）於台湾南投県九族文化村

- 2005 「臺灣資料 テキスト・音・映像で見る台湾 一九三〇年代の小川・浅井コレクションを中心として」 2005 年 3 月 3 日より 4 月 28 日 於東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

代表者として獲得した外部研究資金

科研費

- ・ 令和 2 年度～6 年度 基盤研究 (C)「農業開拓移民としての八重山諸島台湾系移民—「華僑華人」研究の再構築」総額 3,300,000 円
- ・ 平成 26 年度～29 年度 基盤研究 (C)「台湾漢人民間信仰から見る「記憶」と歴史の「馴致」に関する宗教人類学的研究」総額 3,800,000 円
- ・ 平成 22 年度～25 年度, 基盤研究 (A) 海外学術調査,「日本を含む外来権力の重層下で形成される歴史認識-台湾と旧南洋群島の人類学的比較」総額 32,400,000 円
- ・ 平成 16 年度～19 年度, 基盤研究 (A) 海外学術調査,「東南アジアにおける中国系住民の土着化・クレオール化についての人類学的研究」, 総額 32,630,000 千円
- ・ 平成 10 年度～12 年度, 国際学術研究 → 平成 11 年度より基盤研究 (A) 海外学術調査,「東アジア沿海地域における民俗文化再生過程の人類学的研究」, 総額 15,100,000 円
- ・ 平成 5 年度, 奨励研究 (A)「東南中国, 台湾の民間信仰に関わる民族語彙集作成のための基礎研究」, 研究代表者, 総額 900,000 円

その他

- ・ 令和 2-3 年度 慶應義塾大学学事振興資金「民間信仰と歴史記憶—台湾における日本人を信仰対象とする信仰実践から」(500,000 円)
- ・ 平成 30-令和元年度 高橋産業経済研究財団「「慰霊供養と神格化から見る台湾人の歴史認識—民衆史学の構築をめざして」(3,000,000 円)
- ・ 平成 27-28 年度 慶應義塾大学学事振興資金「日本人の台湾植民地経験の研究—オーラルヒストリーを通して」(500,000 円)
- ・ 平成 26 年度 JFE21 世紀記念財団アジア歴史研究助成「膨張する中国による東アジア新秩序下の中台関係に関する人類学的研究」(1,500,000 円)
- ・ 平成 16 年度 公益信託澁澤民族学振興基金民族学振興プロジェクト助成「台湾植民地主義研究会台湾における植民地主義の検討—「日本」と「中華」をめぐる」(600,000 円)
- ・ 平成 15 年度 財団法人交流協会共同研究事業 (人文社会科学分野)「台湾における植民地主義の研究」
- ・ 平成 11 年度 財団法人交流協会日台交流センター歴史研究者交流事業「日本植民地期の台湾漢人に関する歴史学・文化人類学・民俗学的研究について」派遣期間: 1998 年 7 月 29 日～8 月 28 日
- ・ 平成 2 年度 村田学術振興財団「台湾漢人の世界観」派遣期間: 1990 年 9 月 24 日～1991 年 3 月 17 日
- ・ 昭和 59 年度 トヨタ財団「台湾漢族の漁村社会と女性」(1,750,000 円)

受賞

2023 年 8 月 19 日 2023 年度（第 3 回）日本地理教育学会出版文化賞

『フィールドから地球を学ぶ―地理授業のための 60 のエピソード』（古今書院），2023 年 3 月 25 日出版．横山 智・湖中真哉・由井義通・綾部真雄・森本 泉・三尾裕子 共編ほか著者 50 名（著者名略）